



本に親しむ



17日(水)の朝、みすみ絵本サークルの皆さま6名が来校され、各学年で読み聞かせをしてくださいました。子どもたちの発達段階に合わせて選ばれた絵本はどれも魅力的で、表現豊かな語りに、子どもたちはぐっと引き込まれていました。読み聞かせの時間は、物語の面白さに気づきかけとなり、自主的な読書へとつながります。また、聞いた場面を思い描くことで、想像力や言葉の力が自然と育まれる大切な学びの時間でもあります。地域の皆さまに支えていただきながら、子どもたちが本にふれ、物語を楽しむ機会をこれからも大切にしていきたいと思います。最後に、みすみ絵本サークルの「夏のおはなし会」が

7月11日(土)に予定されています。先日、案内を配付しておりますので、ご都合が付かれる方は、お子さんと一緒に参加してみたいはいかがでしょうか。



8020

11日(木)、歯の健康集会がありました。保健・体育委員会の子どもたちが、クイズ形式で歯の磨き方や虫歯などについて、発表しました。また、歯科衛生士の杉村さんが、歯の健康について、子どもたちからの質問を受けつけながら、教えてくださいました。私事になりますが、私の父は、昨年91歳でなくなりました。父は、1本も入れ歯がありませんでした。父が歯医者に行った記憶もありません。父は、魚を食べていて、細かい魚の骨まで残さず食べていました。とてもかむ力が強かったのだろうと思っています。日本歯科医師会が「8020」運動を推進しています。これは80歳になっ

ても20本以上の歯を保とうという運動です。「8020」を目標に私も頑張ろうと思います。



「僕たちがいつもつかっている場所ですから」

朝、私が運動場の草取りをしていると、6年生の子どもたちが10数名、自然と集まってきて手伝ってくれました。遊びたい気持ちもあるはずなのに、黙々と作業を進める姿に、頼もしさを感じました。「朝から、いつもありがとうね」と声をかけると、ひとりの子が、「僕たちがいつも使っている場所ですから」と返してくれました。その言葉を聞いた瞬間、胸が熱くなりました。自分たちの学校、自分たちの場所を大切に思う気持ちが、こんなにも自然に言葉として出てくることに、心から感心しました。青海小の6年生の素晴らしさを、あらためて実感しています。